

ソ テ ツ

●所在地／三秋 西願寺 ●所有者／西願寺

ソテツ科。境内に 8 株（分株して 10 株とも見える）あり、1 株は雄株おかぶで他はすべて雌株めかぶである。うち山門の両側のものが大株で、特に南側の株は根回り 5 m、高さ 5.5 m と最大である。

これらの株の一部に近年腐食が見られるが、大部分の樹勢は旺盛である。

ソテツは南西諸島、南九州などの亜熱帯や暖地に自生するが、国内各地の社寺や庭園にも植えられている雌雄異株しゅういしゅ じょうりよくじゅの常緑樹である。花期は夏で、雌株は頂部に径約 25cm の半球状の雌花群を、雄株は長さ 40cm 以上の太い棍棒状こんぼうの雄花

群をつける。近縁種は中生代に繁茂はんもし、本種は第三紀に出現したかなり原始的な植物である。

